



グリーンセンターだより



宮城県女川町
復興支援

6/15より災害廃棄物の受入れが始まりました

前号（第10号）でお知らせさせていただきました被災地・宮城県女川町の災害廃棄物について、平成24年6月15日（金）より、当グリーンセンターでの受入れが始まりました。1日コンテナ車2台、月曜～金曜に受け入れ、平成25年3月末までに1,400t程、処理支援して参ります。

グリーンセンターと周辺の空間放射線量につきまして、健康に影響を与える数値は出ておりませんので、ご安心ください。測定結果につきましては、裏面でご確認ください。

被災地復興の妨げとなっている災害廃棄物の処理支援について、引き続き皆様のご理解とご協力をお願いします。



受入初日（平成24年6月15日）の様子です。

密封された専用コンテナで搬入され、可燃ごみ処理施設のプラットホーム内で開封し、ごみピットに投入されました。

市内から収集した可燃ごみと混合して焼却します。なお、市内から収集した可燃ごみに対する災害廃棄物の混合比率は10%以下です。

小金井市の 家庭から出された 可燃ごみの処理を支援

二枚橋衛生組合の解散により処理できない小金井市の可燃ごみを、多摩地域の自治体が結んでいる「多摩地域ごみ処理広域支援体制実施協定」に基づいて6月19日から搬入を受け入れています。

これは、平成19年度から継続しているもので、今年度は3月末までに200t以内を受け入れる予定です。

なお、今年度は当市のほか多摩川衛生組合（稲城・狛江・府中・国立の4市で構成）、三鷹市でも支援することが決まっています（6/29現在）。

小金井市は、可燃ごみ処理問題を最重要課題と位置づけて、平成24年度中に実現可能な方針を示せるように取り組みと表明しています。



クリーンセンターと周辺の空間放射線量測定結果

国の方針では、毎時 0.23 マイクロシーベルト以上の地域が除染対象となります。今回の測定では、毎時 0.23 マイクロシーベルトを超えた地点はなく、健康に影響を与える数値ではありません。

1. クリーンセンター

測定地点	【北側】 動物管理事務所前	【東側】 根川沿い裏門	【南側】 資源物再生施設裏	【西側】 浅川沿い正門脇
測定日				
受入前 6/13	0.085	0.084	0.063	0.067
受入後 6/20	0.072	0.070	0.059	0.065
受入後 6/27	0.077	0.087	0.062	0.071

2. 周辺

測定地点	新井わかたけ公園（石田 270 番 1）		新井公園（石田一丁目 13 番地の 6）	
測定日	地面から 5 c m	地面から 1 m	地面から 5 c m	地面から 1 m
受入前 6/13	0.055	0.056	0.087	0.073
受入後 6/20	0.060	0.054	0.089	0.080
受入後 6/27	0.061	0.052	0.081	0.072

【測定の概要】①測定単位はいずれも、マイクロシーベルト／時間②測定は、クリーンセンター職員が 5 回行い、平均値を記載③測定機器…HORIBA 製環境放射線モニタ PA-1000 Radi

クリーンセンターから出る焼却灰の放射能濃度測定結果

国が定めた基準では、作業員の安全を確保できるレベルとして 8,000 ベクレル/kg が示されていますので、下表の結果については、健康に影響を与える数値ではないものと分析されています。

	採取日		放射性セシウム（ベクレル/kg）		
			C s -134	C s -137	セシウム合計
主灰 ※燃やしたごみの燃えがらのことで、 焼却炉の底から排出される灰。	受入前	4/11	46	77	123
		5/11	55	85	140
	受入後	6/22	44	73	117
飛灰 ※ろ過式集じん器などで捕集した排ガスに 含まれているダスト（ばいじん）。	受入前	4/10	57	89	146
		5/10	64	113	177
	受入後	6/22	45	63	108
排ガス	受入前	4/11	不検出	不検出	不検出
		5/11	不検出	不検出	不検出
	受入後	6/22	不検出	不検出	不検出

※不検出とは、分析の限界数値を下回っていることを指し、0 ということではありません。